



高大連携通信

センター長より

リベラルアーツセンター センター長 内海 太祐



2022年度には、新学習指導要領が高校でも実施されます。今回の改訂は内容として非常に多岐にわたっており、大学入試においても様々な変化が予定されています。これらの改訂は、少子高齢化、技術革新、グローバル化などに対応し、教育を変革していこうという意思のもとに企図されています。しかし、実際にそれを実施する教育現場では、この改訂に対応することには多くの困難を伴います。その困難は大学においても同様です。湘北短期大学の高大連携事業は比較的早くから始まっていますが、新しい時代に対応した高大連携のあり方を改めて模索する時期に入っていると感じています。生徒・学生にとってより良い高大連携となるよう、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

第17回高大連携教育研究会

2021年9月22日、第17回教育研究会を開催しました。今回は対面とオンラインいずれかの方法で参加していただく「ハイフレックス形式」で行いました。対面で6校、オンラインで7校の高校がご参加くださいました。講演は厚木商業高校校長宗方泰司先生および総括教諭穂田智範先生による「高等学校新学習指導要領による新カリキュラムと新校準備について」。県立高校改革実施計画Ⅱ期により平成6年度に厚木東高校と統合し新しい高校に生まれ変わる厚木商業高校。新学習指導要領のねらいを踏まえ、現在計画中の商業科の強みを生かしたカリキュラムを紹介してくださいました。関心の高いテーマで意見交換も大いに盛り上がりました。



本日の流れ

校長より

新校の設計について

- 1 現状分析
- 2 新学習指導要領のねらい
- 3 普通科・商業科併置校へ
- 4 外部組織とのかわり
- 5 新校の学校経営

まとめ (withコロナ, afterコロナ)

はじめに



・総合ビジネス科において、多様な進路に応じた教育課程の編成や、進学を希望する生徒が増加している実態を踏まえた進学対応を強化する教育課程の編成を可能とさせる。



商業科の強みと新校統合に向けた準備

- 「探究する能力」を育むための「課題研究」という科目が、すでに整備されている。
- 課題解決に向けた、思考・表現のフォーマットがあり、成果発表をする機会を過去から継続してきている。
- ⇒普通科との統合により、互いの生徒にとって利益となるカリキュラムを実践し、地域に貢献できる人材を育てる。
- 社会に開かれた教育課程を実現していくためには、「タテヨコアナメ」の連携・相互乗り入れが欠かせない。



ご参加いただいた高校

ご来校：神奈川県立愛川高等学校、神奈川県立厚木商業高等学校、神奈川県立厚木東高等学校、神奈川県立伊勢原高等学校、神奈川県立中央農業高等学校、神奈川県立秦野総合高等学校

オンライン参加校：神奈川県立相原高等学校、神奈川県立伊勢原高等学校、神奈川県立小田原東高等学校、神奈川県立茅ヶ崎高等学校、神奈川県立二宮高等学校、神奈川県立平塚農商高等学校

出張授業報告

緊急事態宣言が続く中、本学の出張授業は、通常の授業と同様にオンラインでもできるプログラムを用意しました。今年度前期には2つの連携校から依頼をいただきました。

茅ヶ崎高校「赤ちゃんの世界と大人のかかわり」

担当:保育学科 教授 照井 裕子



2021年7月12日、「赤ちゃんの世界と大人のかかわり」というテーマで茅ヶ崎高等学校の1年生から3年生の皆さんにオンライン出張授業を行わせていただきました。生後間もない赤ちゃんから2歳頃までの子どもたちがどのように自分を取り囲む人やモノを認識していくのか、特に鏡を見たときの子どもの反応を取り上げながら概説しました。その上で保育者が0歳児の子どもと1対1で遊びを展開している場面のビデオを視聴していただき、学んだ赤ちゃんの世界の捉え方をヒントにしながら赤ちゃんの反応や保育者のかかわりの意味について考えていただきました。学んだことがどのように現場での保育につながるのかを実感していただけていたらうれしく思います。

高浜高校1年生「保育学入門」

担当:保育学科 教授 高木 友子



2021年9月13日、高浜高校の1年生を対象に「保育学入門」のオンライン出張授業を行いました。今回高浜高校では、1年生に上級学校の学びを伝えるという趣旨で、県内の各分野の大学と各教室をオンラインでつなぎ、それぞれの大学、分野での学びを紹介するというプログラムを実施されました。本学は保育分野の紹介ということで、取得できる資格、学校の種類、学ぶ科目、授業の様子などを、赤ちゃん人形や保育士マンガも使いながら「保育とは」について説明しました。

学校見学報告

2021年7月16日に川崎市立川崎総合科学高等学校 情報工学科の皆さん40名が、見学および模擬授業の受講のために来学されました。例年はお昼を挟み、学食体験もしていただいておりますが、今回は感染リスクを抑えるため、午前中だけの短縮プログラムで行いました。模擬授業のテーマは「オンラインイベントとサービスの活用について」。バーチャル空間や音声通話など、オンラインイベントの様々な実施形態を紹介し、オンラインサービスの活用方法について学んでいただきました。学内見学は、いくつかのPC教室の他、キャンパスレストランや図書館、就職サポートの部屋、さらには学内のネットワーク環境を支えるネットワーク管理室なども見ていただきました。

授業アンケートからは、「時事的なネタを使い、より身近な話題から授業をしていたので興味がわくと同時に共感できてわかりやすかった。」「今日の状況におけるイベントなどの形態が変化していることと、それに使われる通信サービスの進歩と多様性を感じた。」「ツールの使い方、活用方法について聞くことができて新鮮だった。」など、興味をもって受講されていたことが窺われました。

湘北短期大学リベラルアーツセンター

(担当:北野・高橋・熊谷)

〒243-8501 神奈川県厚木市温水 428
TEL:046-247-3131 / FAX:046-247-3667
E-mail: LAC@shohoku.ac.jp
URL: <http://scopp.shohoku.ac.jp/>
Twitter: https://twitter.com/shohoku_lac



湘北
ナビットくん

高大連携通信 Vol.22

発行日:2022年3月9日

発行元:湘北短期大学
リベラルアーツセンター